

 <b>JWRC</b> <b>水道ホットニュース</b>	(公財)水道技術研究センター
	〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1
	虎ノ門電気ビル2F
	TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215
	E-mail <a href="mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp">jwrchot@jwrc-net.or.jp</a>
URL <a href="http://www.jwrc-net.or.jp">http://www.jwrc-net.or.jp</a>	

## ドナウ流域の上下水道サービス (その15) －スロベニア (Slovenia)－

(出典) Slovenia Country Note

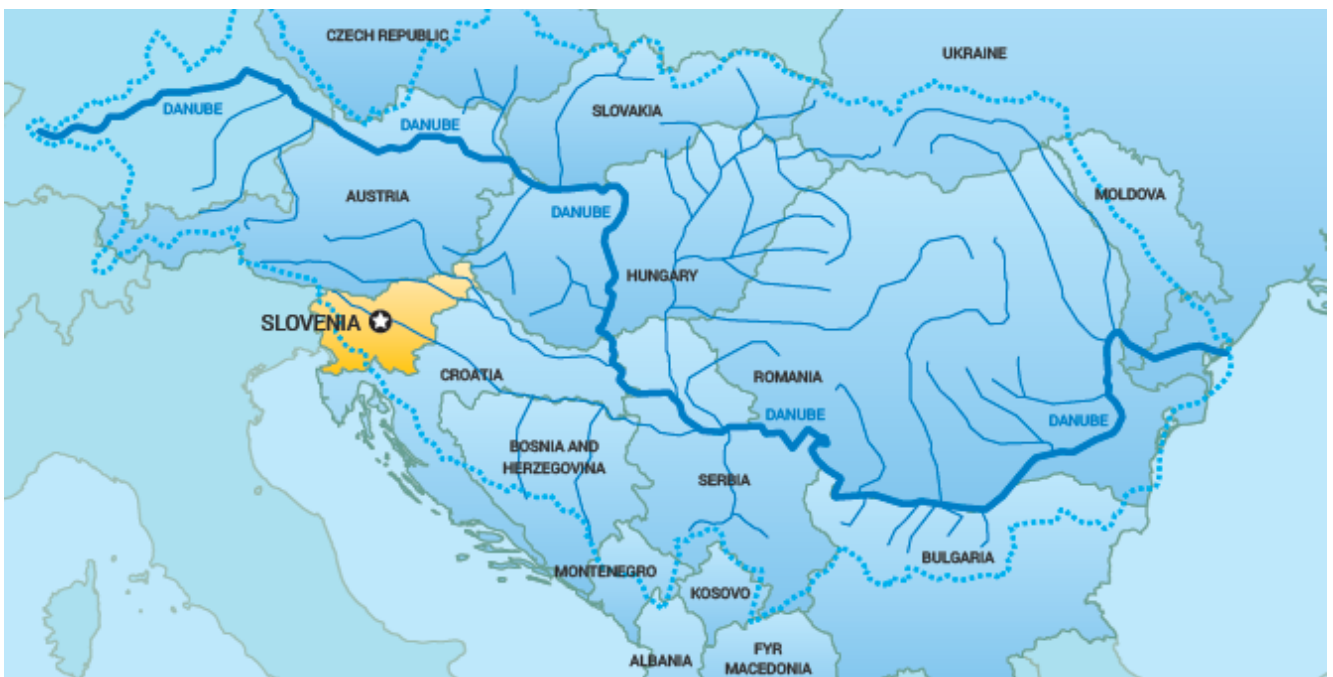
[http://sos.danubis.org/files/File/country\\_notes\\_pdf/SoS\\_Slovenia.pdf](http://sos.danubis.org/files/File/country_notes_pdf/SoS_Slovenia.pdf)

(参考) スロベニア共和国の概要

- 1 面積：2万273平方キロメートル (四国とほぼ同じ)
- 2 人口：約206万5千人 (2015年10月 (統計局))
- 3 首都：リュブリャナ (人口28万7千人) (2015年7月 (統計局))

(出典) 外務省 HP

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/slovenia/data.html#section1>



### 1. 上下水道サービスの組織及び主体

地方自治体は、98の事業体を通じて水道及び衛生サービスを提供している。15の広域水道・衛生事業体は総人口の58%に対してサービスを行っている。80の中小規模地方自治体水道事業体は総人口の約26%に対してサービスを行っている。残りの人口は、主に農村地域に位置しており、自己給水(12%)に依存している。3つの民間オペレーターは、7つの地方自治体に対して水道及び衛生サービスを行っている。

## [スロベニアの上下水道サービスの組織及び主体]

水サービス提供事業者数：98 事業者（2014 年、出典：専門家の推計）

1 事業者当たり平均給水人口：18,502 人（2013 年、出典：筆者の推計）

サービス提供事業者の主なタイプ：広域/地方自治体事業会社

サービスの範囲：上水道及び衛生（下水道）

所有者：地方自治体

地理的な範囲：1～複数自治体

水サービスに関する法令：有

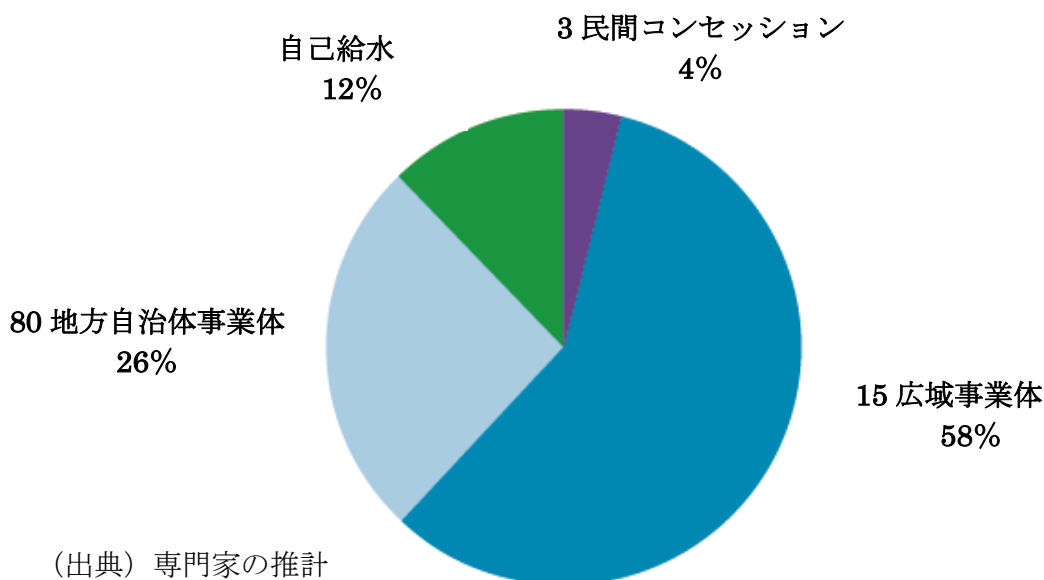
規制機関：有（環境・国土計画省）

全国上下水道協会：有（スロベニア商工会議所（CCIS））

民間セクターの参入：有（4 コンセッション）

*（訳注）下図によると民間コンセッション数は「3」であるが、原文どおり「4コンセッション」としている。*

図 水サービス提供事業者のタイプ及び割合



## 2. 上下水道インフラの現状

スロベニアの水道ネットワークの4分の1は、1920年以前に布設されたものである。2000年から2010年にかけて、特に水インフラの改善に向けたEUの補助金及び資金供与によって水道システムの改修が進められた。スロベニアの水道管の内訳は、高密度ポリエチレン管（53%）、ポリ塩化ビニル管（10%）、铸铁管（8%）、石綿セメント管（10%）などである。この後者の資材（現在の水道システムでは使われていない）は、割れやすく漏水しやすい。486浄水場のうち、72%は塩素消毒、13%は機械的・化学的浄水処理が行われている。

浄水施設数：486 施設（2013/11 年、出典：専門家の推計及び Eurostat 2014）

下水処理施設数：304 施設（2013/11 年、出典：専門家の推計及び Eurostat 2014）

水道管路延長：22,655km（2013 年、出典：SURS 2015）

下水管路延長：8,501km（2013 年、出典：SURS 2015）

### 3. 上下水道サービスの業務水準

スロベニアの飲料水水質は、微生物学的及び化学的パラメーターは2004年から2013年の間に改善された。基準適合率は過去10年にかけて着実に向上し、2013年には92%となっている。しかし、依然として、小規模集落ではいくつかの飲用水の水質問題がある。平均的な水消費量は1人1日当たり1140であり、1日24時間給水が行われている。

#### [上水道サービスの質]

家庭用1人1日水消費量：1140（2014年、出典：SURs 2014）

1日の給水時間：24時間（2013年、出典：専門家の推計）

飲料水サンプルの基準適合率：92%（2013年、出典：ARSO 2015）

### 4. 上下水道サービスの効率性

効率性に関するデータは少ないので、水セクターの効率性を適切に評価することはできない。しかし、2012年における無収水率は31%（7m<sup>3</sup>/日・km）であり、ドナウ流域のほとんどの国々と類似している。メーター計量率は95%と高いレベルにある。

### 5. 上下水道料金

上下水道料金は、固定料金と変動料金で構成されており、平均上下水道料金は2.14ユーロ/m<sup>3</sup>である。2013年1月に出示された指令によれば、上下水道料金は水道メーターの口径に応じた固定料金と、水の消費量に比例した従量料金で構成されている。この料金体系は全ての分類の水利用者（家庭、公共施設、産業）に対して同一である。しかし、特殊なケースとして、大規模産業は地域の公共水道事業者に対して料金を直接交渉することができる。平均水道料金は（固定料金を含めて）0.98ユーロ/m<sup>3</sup>であり、平均衛生（下水道）料金は（固定料金を含めて）1.16ユーロ/m<sup>3</sup>である。

(文責) センター専務理事

安藤 茂

#### 配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までEメールにてご連絡をお願いいたします。  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (公財) 水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : [jwrchot@jwrc-net.or.jp](mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp)

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

#### 水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h28.html>

#### 水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。